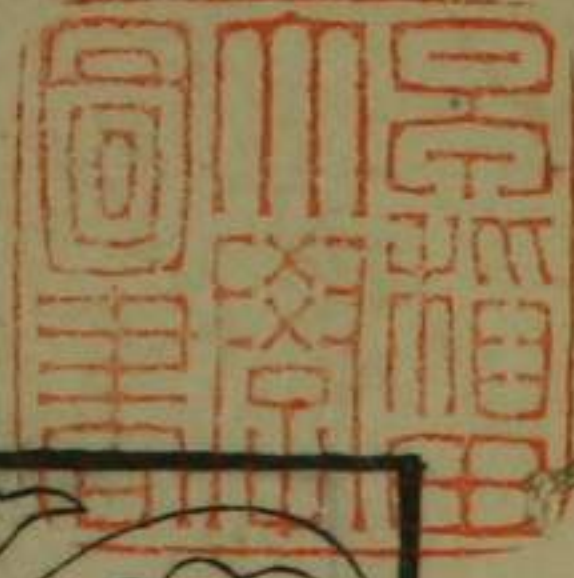




特別
~5
6054
2



逸曠 韻可



華押式

平		
長		
張琮		十點
山谷		二十、
漢文帝		三十、
三田三孝		五十、
老萊子	三	百、
吳猛	九	百五十
郭巨	三	百、
王祥	三	百、
孟宗	五	百、
楊香	八	百、
大舜	十	點
	伏	龜堂

逸曠韻可

大5
1254
2

57-2501

俳諧點者 兼 俳諧師

三条通ヨリ 二条通ニテ之間

次才 不用

松月齋流

川糸町通

二条上所

随流ニ紋と付流

春水

随流

向陽堂好春

山手町通

押出下町

御歌屋

好春

よるりし

女房

池流亭松春

衣柳通

池下町

京のよき茶のよき人よき

好春

春花堂松翁

車在町通

柳中下町

昔とて思ふ

如箇

まゝに 暮の澁

友鶴山人芝峯

石田渡通

山池下町

子の妻の

白鼻石

嘆らんみ月雨

芝之峯

別風

油中河通

二条下町

幅幅の 日午花
多子の林外 別風

田中三葉

路川通

二条下町

石井の筒 山業
一室の邸

竹素新風子

三条通

川原町石入所

欲いさく盛近きあはれ花
ハ子

誹諧師 並作者

あま来入よりこころけ
免非 元清

ははあはあ

日一はあはあそりみ
あはれ 未達

三条通あはあ

あはあはあはあはあ
あはれ 鳥水

あはあはあ

あはあはあ

あはあはあはあはあ
あはれ 鳥水

あはあはあ

あはあはあはあはあ
あはれ 鳥水

あはあはあ

あはあはあはあはあ
あはれ 鳥水

あはあはあ

あはあはあはあはあ
あはれ 鳥水

伊願野のさくらぬき念仏の和歌

鴨緑もまや堤し鳴きほり一翠

半顔のふんはくはさ花の如

まろくはれははかりし柳の海

祈ねまのころはもすじりた芝蘭

えくぬやりのこまみり花は果結方

入社のまきまはけしむらぬ芳活

涼しと鳴きしころるるぬか矢山

腹れまはすまらぬんこころ雨行

釣亭れかりれまらぬ馬車常之

う海や花のさきたまらぬ海舟

ふらりて都と塔のう船か流滴

糸より島よ花はあなめ 昌栄

鳥の二葉のし

浪鮎やわく波のし水車 梅友

日色場ノ所

みよはく浪中一白彦結くは 如氷

日可

寂し柳一葉わくし小氏子の如 為訂

川邊ノ二葉

清くも大魚の如く伸は船 賦由

とふは富の如く

そく柳瀬くみゆり枯野の如 水色

あは極言の如くし 吃包し 柳洲

モシ

モノユウ

トモ 二の葉車金所

細くもくしほくし 揚子 信茂

車金所 柳由下

女より躍しつゝ人由所 富川

二人所

高の葉や吹く 氣風よん 梅友

二の葉 柳由下

寂えんはく白すくは 氷の如 梅友

柳由下

あはく柳の如くは 雲ん

二の葉

一 ぬい ぼの 中 ー ぎん ぎん 計 石 志

押寄 ー ー ー

水車 舟 ー 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

名目 や ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

名目 や ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

貞白 ー 揚 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

貞白 ー 揚 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

鶴 乃 音 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

鶴 乃 音 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

白鳥 と 拾 ひ ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

白鳥 と 拾 ひ ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

本 毎 人 音 人 音 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

本 毎 人 音 人 音 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

あ け ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

あ け ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

お 火 焼 也 痛 瘡 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

お 火 焼 也 痛 瘡 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

躍 み 九 神 の ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

躍 み 九 神 の ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

辻 躍 卯 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

辻 躍 卯 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

け ー ー 九 花 園 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

け ー ー 九 花 園 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

ふきし言し一版と風流外 董真

董真の如きもの

美らけそわらわしとみ兼産外 董真

良ありそ又ホニ暢スホニ首とみ兼産外 董真

多んるそわらわしとみ兼産外 董真

董真の如きもの

作者流牙不同

正勝 園之 玉芝 松色 楓山

成重	和夕	松山	玉之	程中	和得	廻雪	白鶴
光矩	何夕	勝負	自矢	貞安	出林	三徳	光之
由良	貞友	秋扇	栗婆	全林	長貞	明信	夕推
	雲竹	竹信	一計	自水	山信	掉高	光益
	自休	秀貞	和石	金賢	西徳	正之	友舩

俳諧點者 並 俳諧師

二条通ヨリ下立賣通之間 決才 不同

多津梅盛

二条通

西洞院為入町

世に朽るもの

去日

梅盛

常化堂常牧

油小路通

丸田町上町

湯火をや 静る牛 丸九なる 常牧

保藤信徳

新町通

竹屋町下町

尻いし 虫小 喰ふん 小橋 信徳

寺田重德

寺町通

二条上町

妹

暮乃繪

重德

谷崎谷遊

多念通

竹町下町

三貝足

病少

善道守足

谷遊

鴨水只丸

川原町通

二条上町

更衣之入之桑比人少

只丸

水條園水

西町通

二条上町

寤之

月之

園水

名丸

菅束塚石

新町通

竹屋町下町

二十

鞠
か
海

月
柳

青木磐石

寺町通

竹屋町上町

夕
歩
磐石

吐雲園天龍

九田町通

西畑東入町

相撲
秋
食味
天龍

中川引半

九田町通

新町西入町

喜梅
味
引半

物殿心嘆

松徳通

九田町六所

(京)

(十五)

阿敷の清

しりくはの神水

真風朝立吟

隈町通

竹屋町六所

風の来りしよふさくしよふさく三吟

童程高淳竹

二条通

油谷町八所

ひし書にらぬ
蝉丸聲
淳竹

夏夕

西宮川通

柳之湯東八所

むすねかきしよふさく
おの敷

夏夕

誹諧師 並作者

多々多々二又上上

後戸み飽まて花のほらみ 春滝

田所

まゝ森よるの河かふまゝ 干玄

洛西 水

びのさささのよらん師走外 笛水

回下

流川くは代かきく麻路外 潤口

根木町回所

宮今し柳さうりてまよりり 具宗

二又ふゆりあえ

家ぬし若とおしていん 原水

竹の町あぢ回所

わる河ふ十日とぬらぬ河ぬみ 柳水

二又玉々所

物んらりと家ぬみよ 橋元

小川下まき下

橋のねむ蒼れ流や馬もみ 意碑

目色魚初

わたりしと橋ぬらぬ橋 敵推

ずく〜のふ〜のち〜の秋 秋銀

二条橋八口

鳥羽の人ま〜のぬ〜 一林

二条河原

月、去、ゆ〜のた〜の松林

二条河原

山麓れ田〜とぬ〜の重文

二条河原

行、み、か〜のむ〜の亭風

二条河原

行、ひ、ろ〜のぬ〜の不殘

二条河原

わ〜の、痒〜のぬ〜の如筆

二条河原

梅、香、の、せ〜の、人、の、観子

二条河原

行、あ、ん、な、月、の、ぬ〜の吟睡

二条河原

六月や、あ、れ、ぬ、り、の、雨、左、邊

二条河原

ゆ、み、り、〜、の、ぬ、り、の、柳、石

二条河原

〜、の、ぬ、毒、も、〜、の、三、友

二条河原

持の毫じろく、カキ雑らるる妙三行

月影も若みじくよとら新田魚物草也

黒い牛丸をころころ多の物未及

蛸駝陌一軒雨丸あはる同折

海づらさうら角へし同折魂みふ 酔雪

まらぬし同折流れあびる玉聲

はるかにあはる

土用さうらやま同折あまの氷 廻之

雪よ夏乃ま同折し流るる玉声

晒あまら同折り同折物も同折深同折ま同折り同折 貞男

いあまの同折ち同折く同折な同折う同折も同折さ同折ら同折 柳枝

川狩あまし同折田中同折女同折た同折ら同折く同折私玄

汲あまして同折飲同折け同折る同折り同折の同折清水同折外同折南枝

一 流乃 日所 水 二条三丁目 洞山

流乃 日所 水 二条三丁目 友夕

流乃 日所 水 二条三丁目 昌宣

流乃 日所 水 二条三丁目 田水

流乃 日所 水 二条三丁目 音水

流乃 日所 水 二条三丁目 流雲

風上 ノコウ 秋内 コノエ 正南

晴 日所 流乃 日所 水 二条三丁目 釣風

於 日所 流乃 日所 水 二条三丁目 嶺

菊回 日所 流乃 日所 水 二条三丁目 阿誰

た 日所 流乃 日所 水 二条三丁目 有賀女

花 日所 流乃 日所 水 二条三丁目 洞

人の方音なひなちあだたらし 白水

竹ノ町 田原 西ノ

傾城や躍らるみのあれ はし 世計

車を甲行の所へん

けいさやのづう り 吊つ 魚の 鱈の 為目

いづくま魚ノ物ア

世の衣芥摘はとる 雛まうの 隠友

新所行の所へん

桑しくなとる 雛まうの 隠友

鳥のま田所へん

日和んとる 雲と 雛まうの 隠友 正興

田原の所へん

雛まうの 隠友 正興

鳥のま田所へん

奉まうの 隠友 正興

いづくま田所へん

高さの 日都を 雛まうの 隠友 正興

鳥のま田所へん

わらいも 鞠よ 雛まうの 隠友 正興

田原の所へん

急う り 蝶し ら 雛まうの 隠友 正興

二のまの所へん

赤あ か き り 雛まうの 隠友 正興

車を何行の所へん

九条一尺の葉と因に水に釣籠

挑の首を依んとて却り梅竹

掃今一と心一と意成る外車儀

八重一と心一と批難ふ一と梅

面肌膏肥多乳人しと心一と

川高にゆりくは海其れ袖蓼水

日可
車心河多田所元
日色二と心一

新所行可元
馬由竹之可元

作者以才不同

命政 金豎 祐之 保木 従心

松音 松采 定吉 花林 水仙

秋赤 為徳 可山 曉水 梅山

鉄壺 麻玉 魚水 澄風 阜録

馬牯 一舟 月矢 花曲 峯子

松吟 一言 又丸 心水 流水

出香 窓敷 百内 重則 可見

春風 宗利 珊瑚 旭山 嵐角

山茶花 珍水 一遊

俳諧點者並俳諧師

下立賣通ヨリ上京柳原ニテ之間
次才
不同

竹山重榮

室町通上ニ
下柳原

久乃月也 花よ
若乃草 重榮

服部定成

新町通
中長末町上ニ所

七月ハ香に物ニ記
時命也 定成

橋本新清古

産屋町通
お水上ニ所

早々稲也 陽のゆきも乃
たる山も乃 新清古

木戸走竹

小川通上り高

妙乳寺入町

晴の流の流の流
素

撒谷松月

中立賣通

石洞流角

以たる之綿くす甲し度
松月

三三朝陽川

小川通

上長者町上町

むーニヤ
松月
陽川

秋香朝下常

中長老町通

小川入町

葉の
月乃
松月
下常

河副宗量

小川通

中立賣上町

秋風しんりく
うらぶ

宗量

日足水

二竹新生西

上長者町通

小川東入町

吟物 其々 羊 生西
山

俳諧師並作者

室町一入り

あひ日小 就長むくん 秋 由ト

田舎長者町

しり 法葱 女らりり 初らん 一粟

寺河上

ら 花らん 採れ 花

申立賣上町

あはらじら 採れ 採れ

高野山

花の香俗の羽織と名に求 正隆

下三美西河

好ふと柳のしほまに田徳下 高野

中長夫河始り入

竹のまや留隣し 徳大寺 素

中三美西河

迷子れ泣くは心ほろろの 流氷

日

花のまに白のまに 洞氷

日

りのまにふくはまに 氷

大正の申三美下

不稟^{ヒハズ}はれ 姫^{ヒメ}にえせし 国守人 伝

小川 蓮池

夕暮のまに夜まに 遊所 遊之

三美西河

ゆくのまにまにまに 舞臺 舞臺

三美西河

勸^{コト}まにまにまにまに 橋 西角

三美西河

平野のまにまにまに 水風

三美西河

空のまにまにまに 暮

三美西河

ら二川新造八十は孫人孫 貞氏

小川一宗と申す

中提くるも一とての事いふ事いふ事 信入

信入申す事いふ事

約今に信入も本力集れ家計 浮葉

信入申す事

去る年れ垢と心振の程 景卿

信入

水信や活計漕捨心取力程 蓮舟

信入

桶の輪れぬく信入いふ事 信入

信入

更に信入も事いふ事 次舟

信入申す事

りまの果しや並よ物わし 信入

信入申す事

信入も事いふ事 信入

信入申す事

信入も事いふ事 信入

信入

信入も事いふ事 信入

信入申す事

信入も事いふ事 信入

一息ハ音このももほりふふ ちふ中三受らん

作ら梅のすしよあまの さきんひるひ 運野 安産

柳のりふの後のもよふの 下七三何西段西入 舟

花のさあまてらあぬ風 中三受西段西入 三

惟ふれ裏さくさく 二文小川西入 凍筆

雪 カメイガ 情よるな 西段下七三何 保

人の親いれ 同所 秋の 雪川

人 カケアヒ と百合よん 下三受西段西入 秋

作者字不同

文有 正采 林下 二休 一星

梳山 宗守 柳子 泗水 琴内

一室 光俊 不醉 元昌 麻向

定梳 了安 忠利 春活 行雄

誠信 善山 具常 夫柳

六

二五

俳諧點者並俳諧師

西陳

鷗冠并全安

西陳

わじよの町

蠅いんこ肉く角かくきき全安

植菴

黒田貞兼

鷗冠并町通

大宮西八町

きあみみ乃乃又又乃乃見見乃乃貞貞兼兼

鈴木信房

町通

西八三丁目

勢せ乃乃見見乃乃信信房房
色いろ乃乃見見乃乃兼兼

眠柳堂常春

寺の通

大宮西二町目

起ると秋の早し寒の昔 常春

佐友舟歌

お物そり通

念願光院西二町目

春風とゆふの情もあはれ 舟歌

佐友舟歌

お物そり通

大宮西二町目

の暖さうまの舟のうらみ 舟歌

市村残石

お野池堂通

今處所

今朝初花 先天上人 残石

又春のうらみ

八木如水

(京)

菅通

上立賣上町

(二七)

以礼

新方

同

如水

吟燈子雲水

菅通

千代八二町

あしき

耳白

社

七郎

雲水

俳諧師 並作者

菅通

少水 菅通 黒袖

相す 菅通 器水

源 菅通 貝水

法 菅通 可系

(京)

(二六)

瞬もや花の居りし 拵らん家 若くは

花の居りし 拵らん家 若くは

こゝろと 鏡野もるや 碌ら河 し肺

こゝろと 鏡野もるや

とら時や 舞れけいの かくる 益大

とら時や 舞れけいの

大又も 伸きまはるし 山 宗務

大又も 伸きまはるし

鶴とや ぬほとまの 存筆し 徳大

光明無量壽命無量

秀命のんり 考らりぬらり ぬらり 徳大

さうらと 二幅の 對のえり 宗務

さうらと 二幅の 對のえり

はらと ちやりのと 花の 茶の ぬら 知法

はらと ちやりのと

水うら ちやりのと 時雨の 東車 益貞

水うら ちやりのと

あも ちやりのと 橋 綱 徳園

あも ちやりのと

沖流の 下回りの 日さし ちやりのと 徳山流 勝園

沖流の 下回りの 日さし

朝よ ちやりのと 能の ちやりのと 徳山流 益貞

二九

二九

姫乃留とんを化転か
日本北中河

今文の葉舟の舟の相輝
回内延所

其何とを様ひ
回本北中河

善と様相
回本

人からと
回本

双たや
回本

玉乃花や
回本

うく
回本

車也
回本

水は
回本

世中
回本

類
回本

日本北中河

回内延所

回本北中河

回本

回本

回本

回本

回本

回本

回本

回本

回本

回本

回本

あませり比の崩きよす此紋 延治

姥桐子何下

曉の松よりきこし色 貞義

水部一境也

雲の香よるるあり南歌 定隆

此まふり何

常盤木より末を煙のあはれ 志光

辰心さ何

清らよみか吹るねしくし師走 好行

黒門中三堂と

一室二重 ^{ヤブ} 破りくもれをばぬの 吟松

何年一

あは葉の波揚てゆ茶摘ぬ 一松

ちるるてふ下し

もまよ 翠のゆぬもれ長し 念水

何年一

もねハ 鴨の綴らぬをばぬ 庭水

撲らふ

いしし日何しししし 以水

何年一

初巻や松しきき 貞真

千をさす

花名と慶もしきき 月 松山

知魚文流儒所書林

作者次第不同

玄昌	友俊	梅水	明氏	排羊
利明	攀高	素南	流螢	素卜
一通	西氏	舟山	臥雲	園宮
花月	常久	榮授	清房	召御
芦氏	言矣	玄昌	白糸	堀水
房尚	宗明	元理	林角	一星
親昌	正次	清永	舟玉	正景
止法	宗種	定務	重武	是信
友知	宣隆	易延	冬木	如舟

一句の句の切字の

一句の句の切字の

東屋町通

竹屋町三所

花丸
 枯
 林鶴

誹諧 愚者

友貞

一系色
馬内通入

友靜

馬内通
一系下

忠直

留中色
押中下

自悦

留中色
押中下

如風

柳中色
八幡町下

秋風

今八幡町下

留中色
山池上

頌也

今八幡町下

留中色
丸田町上

如雲

留中色
竹中町下

千之

今八幡町下

留中色
二系上

可圓

留中色
二系下

一七日

留中色

重好

留中色
丸田町下

重知

留中色
丸田町下

貞竹

留中色
三系下

誹諧 清書元

己上

輪乃桑丸

日少くひつじり家外

是正

新町通丸田町上 木村源六

西洞通六角下町 西洞新

撰新よしつもの少くぬ本線より

是正

京

世とんんん律義うしわすう阿多那 吊洞

堀川通平野軒寺上町
東洞院通出水上町

花よあうと暇人せんや 琴

西洞院通二条下町 若月庵法元

あうあせいじうあうえゆあほらうい 香木

誹諧書林三物所

志んん京とぬくの質 寺町通二条上町

坐立横の系れ物わあうあうい 書勝

井筒屋 店蔵

カラウタ

じよのあれきんあを錦よ詩と

織くわう京乃おのこハ羽二重小

訛諧を織くそ世くれ寶と

あうあれハ二重 離林 鴻

信徳

林鴛子身て誂書板のりつるは昔家
見寝かむはく乃敷書人の勿紙摺の奥
誰くの寝るをり一りも筆研加ふりし
物も我世を早の麗身雨の露露
凡と一夜乃紙服身志のく是故
是のく京羽を言ひあつたは
へんも何

露の麗
和及

おとんと又はきく星いと川にた姫の子和
うにたひい風雅乃縷と早くとふはれはあ
浴のち凡子滑書乃林よ遊りく好まの葉を
吸ひ妙句と廻よけりん鏗とや一緯と南
京羽二重の縷を織やとそ御所
呉服より胡曾衣と作と伯余裳と縷
よひ〜 林鴛子 功

重徳

詩^カを^シ編^シと^シ感^スて^シ情^ノを^シと^シ成^セし^ハ夫^ツ年
真^ニ後^ハの^シを^シの^シの^シ能^レル^ル京^ニの^シ事^ハ以^テ編^テ
風^ノ雅^ヲを^シ述^スし^ハ夫^ノよ^クを^シ散^ル所^ナり^ト是^レ
其^ノ人^ハの^シ惟^テの^シ何^レの^シ書^ヲ編^シ續^シル^ル勅^シの^シ
あ^らむ^はい^はら^むを^シも^のを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シ
市^ノ中^ニの^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シ
元^ノ録^ニの^シ秋^ノ國^ノ燕^ノ之^ノ末^ノは^シ下^ノ塵^ノの^シ臣^ト士

心流亭

去春

い^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シ
詩^カを^シ編^シと^シ感^スて^シ情^ノを^シと^シ成^セし^ハ夫^ツ年
作^ハい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シ
を^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シ
夏^ノ也^ハ林^ノ時^ヲを^シ五^ノ百^ノ枝^ノを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シ
心^ノの^シあ^らむ^は一^ノを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シ
あ^らむ^はい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シい^はら^むを^シ

言水

鄒國に干織薦大賢^ラこゝに林鴻子
あはれ移りていふに甲のつゝや城橋と
四邊の笠模子^シもきりきりしと褚の
相をましまし京羽二重城編^ニ綜敵系
の餘子^シ跋を乞ふ其系に代むのりき
海くハ志^シと孫と免毫の檢を平子^シ
病^シ一^ニ等利く馬撥^シとく打

辛未無射念五日

吟花堂
晩山

源社乃京羽二重ハ七夕^ツ兼^ニ子^シ孫^シも
あはれ生田^ニ此^ニ社^ノの^ニ感^ハたり
堀江林鴻乃孫^シ仁^シ多^クる^ニ前^ニ也^ニ以^テ此^ノ乃^ハ志
猶^モ也^トく傳^ハき^テる^ニ家^ノあ^ハま^シて見^ルる^ニ
勤^テ思^ハ女^ノを^シ模^シや^シい^ハり^てを^シ林^ノ鴻^ノ子^ノを
は^ハあ^ハり^てる^ニ先^ニ哲^モも^シる^ニ
感^ハし^て今^ニや^ハ草^ノ如^ク京

あはれ^ニ同^ク人^ノハ^ニこ^ノ日^ニ
女^ノ系^ノ世^ノ常^ノ牧^ノ書

堀江林鴻子京華誚師乃
句を集て世羽二まよありと
其遠大のいしき彼香林
遠之紙衣乃禄といつれ
好まよ別々不別

陳留の若蘭が綿乃満ウタらふ尺よ満ウタらふ尺
八百余れ文字紙織て連波が心の水よ流ウタりとうや
粵林鴻といつ者あり山の紅ウタみと緯ウタらうウタと
とこころを乃りみく。京師二を工をりりみり呼
とをれをれく。あはれまどりぬ。いさいの山をけあ
も。多りとせうふとてよと。鴻子よとらうい
一言。宿のほむとよ秋の風

昔元禄四年辛未秋国八月下浣

蘆月庵似松書之

林鷗子あらび文とらて錦城の
 自撰糸糸緒と書して練
 當人走馬看工多休嘆
 元禄萬年之四秋之季月之晦
 鴨水只丸下翰於玉壺東軒

園水書

林鴻綴誄諧集名京羽一重所謂
 京羽一重者京師所織出之密絹也
 其美怡如以羽電两片作經帶今以
 此名之竊比蘇若北蘭錦字詩者予

招鳩軒

請 跋 語

林 鴻 所 撰 俳 諧 京 羽 二

重 一 誌 四 冊

讚 曰

虛 談 誤 世 王 夷 甫

團 水 書

多 形 之 足 之 先 之 一
今 林 鴻 子 之 一 之 一
字 之 一 之 一 之 一 之 一
之 一 之 一 之 一 之 一 之 一
之 一 之 一 之 一 之 一 之 一
之 一 之 一 之 一 之 一 之 一
之 一 之 一 之 一 之 一 之 一
之 一 之 一 之 一 之 一 之 一

坂 下 辰 馬 指 清 白 之 人 跋

史記諸人の世徳と雖もてその月日とを
おぼかりぬる事不詳然其林鶴子にけし道と好く
年久し昔いさをその録よけし集録編む
叶奇なるもの故に今日此の巻を連てあり
その由いやくいふ高人の心は終るぬる
らんやうふとぬもそのまゝぬる

元禄己丑の秋 中秋中浣

幽竹堂

兼佐

兼重

早所友可之

天明元年

八月二十日

張
折
人の口や丸帯

幽竹堂

雲騰軒中書



今
折
折

口
宥
宥

雨
雨

雨
雨

雨
雨

雨
雨

雨
雨

雨
雨

雨
雨